

資料4

Ⅱ③ 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
交通事業	京都府	京都市	京都市高速鉄道事業特別会計	1
	熊本県	熊本市	交通事業会計	3
病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	5
市場事業	大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	7
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	9
			百石住宅用地造成事業会計	11
	山口県	下関市	臨海土地造成事業特別会計	13
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	15
		黒石市	温泉供給事業特別会計	17
	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	18
	山口県	美弥市	観光事業特別会計	20
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	22
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	24

京都府京都市 京都市高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、オール京都での人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた公共交通の利用促進、駅ナカビジネスの拡大などを実施し、営業収益は計画を7億円上回る253億円となった。
- ・コスト削減策については、総人件費の抑制、安全に留意した地下鉄設備の更新期間の延長や節電対策など、徹底したコスト削減に努めた。
- ・一般会計からの支援については、経営健全化対策出資金を繰り出すとともに、地下鉄駅賑わい創出事業への出資を行った。(11,873,224千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569
解消実績額 B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474
現在計画 C		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474
B-A 又は C-A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	2,131,905
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	7,807,877

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	4,565,994	6,699,503
解消実績額 B	1,630,979	—
現在計画 C	1,630,979	6,699,503
B-A 又は C-A	△2,935,015	—
資金不足額	6,176,898	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。
- 2 資金不足解消額の平成 25 年度「解消実績額 B」が「当初計画 A」を下回ったのは、計画で見込んでいた5%相当の運賃改定を見送ったためである。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	31.9

年度 資金 不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	73.6	24.4	—

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ バス事業の移譲
H25年4月に、秋津健軍線、健軍長嶺線、東町団地線を移譲
- ・ 利用促進に向けた取り組み
H26年3月に市電ICカードの運用開始 など
- ・ 経営の合理化
職員数を168人から146人へ削減、電車惰行運転の励行等による電車電力使用量の削減、デジタルタコグラフの活用による燃費向上 など
- ・ 経営基盤の強化
バス事業の移譲先へバス車両等の売却、営業所用地等の一般会計への有償所管換 など

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	747,002	717,606
現在計画 C		-	-	-
B-A 又は C-A		66,022	94,547	393,274
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,460,778

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	397,724	925,474	521,972	1,728,973
解消実績額 B	467,599	1,071,531	-	-
現在計画 C	-	1,071,531	521,972	1,728,973
B-A 又は C-A	69,875	146,057	-	-
資金不足額	2,993,179	1,921,648	1,399,676	-

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	176.0	171.1	153.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	155.8	154.4	111.9	100.4	89.4	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足比率を経営健全化基準未満とするための各方策について検証・評価を行う検証シートを作成・公表し、経営健全化計画の着実な実施を図った。

北海道美唄市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(648,343千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		12,769	△87,160	54,438
解消実績額 B		37,901	△48,522	260,826
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		25,132	38,638	206,388
資金不足額	1,492,513	1,454,612	1,503,134	1,242,308

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	145,916	435,886	373,920
解消実績額 B	283,658	191,983	—
現在計画 C	—	191,983	373,920
B-A 又は C-A	137,742	△243,903	0
資金不足額	958,650	766,667	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	115.6	100.8

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	104.6	79.1	71.2	63.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・市民に信頼される病院づくりについては、概ね計画どおり実施。
- ・経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入における方策について
 - (1) 入居促進を実施（新規入居者数 3件）
（収入額） 計画額 131 百万円 → 実績額 138 百万円（7 百万円増）
- ・ 支出における方策について
 - (1) 人員削減
（人員削減）計画値 2人 → 実績値 6人
（人件費） 計画額 1,011 百万円 → 実績額 723 百万円（288 百万円減）
 - (2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制
（物件費）計画額 2,371 百万円 → 実績額 2,534 百万円（163 百万円増）
 - (3) 投資的経費の見直し
（建設改良費）計画額 580 百万円 → 実績額 449 百万円
- ・ その他の資金収支を改善する方策について
資本費平準化債の発行
計画額 2,721 百万円 → 実績額 2,645 百万円

2 資金不足額解消の状況

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	2,091,196	2,611,340	1,667,456
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		412,588	367,930	959,531	432,150
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,762	6,606,422	4,938,966

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	1,984,192	—	—	—
現在計画 C	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A 又は C-A	457,731	0	0	0
資金不足額	2,954,774	1,443,078	—	—

備考

- 1 計画初年度から当該年度の前年度（24 年度）までは解消実績額を、当該年度（25 年度）については解消実績額と現在計画とを、当該年度の翌年度以降（平成 26 年度以降）については現在計画による額を記載している。
- 2 計画初年度から当該年度（25 年度）における「B-A 又は C-A」欄には、B-A の額を記載している。

3 資金不足比率の状況

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	106.3	116.2	80.9

年度 資金 不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	92.8	48.6	68.7		32.0		—	

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組み
取引情報電子化に向けて情報の規格化を推進
- ・ 環境対策の推進
太陽光発電設備の維持管理 等

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(80,571千円)
- ・ 他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。(1,197,000千円)
- ・ 平成48年度までに軟弱地以外の2区画分譲の当初計画に対し、軟弱地以外1区画等を分譲。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額 B		527,844	644,929	79,933	111,595
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		—	76	△756	31,173
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,042,087

区分 \ 年度	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成36年度 (第16年度)	平成42年度 (第22年度)	平成48年度 (第28年度)
当初計画 A	80,437	80,711	80,605	80,715	113,211
解消実績額 B	82,152	—	—	—	—
現在計画 C	82,152	80,711	80,605	80,715	85,933
B-A 又は C-A	1,715	—	—	—	△27,278
資金不足額	1,959,935	1,879,224	1,072,749	588,278	98,202

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	276.4	277.6	265.7	265.9	254.9

年度 資金 不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	147.2	82.5	15.0

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(100,000千円)
- ・ 当初計画どおり2区画を分譲。
- ・ 他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり、継続実施(643,000千円)のうえ12月に全額返済。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	107,834
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△13,365	1,934	3,834
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	106,228	106,959	—	—
現在計画 C	—	106,959	104,000	101,783
B-A 又は C-A	2,228	2,959	—	2,410
資金不足額	624,742	517,783	413,783	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	440.4	556.1	382.8	518.8	319.8	—

山口県下関市 臨海土地造成事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

平成25年度は、以下のことを実施した。

- ・あるかぼーと1番41及び1番42の造成地(291㎡)について、臨港道路用地として443万2,100円で港湾特別会計へ売却した。
- ・あるかぼーと13番21及び13番22の造成地(1,146㎡)について、飲食店を誘致するため再公募を行った。
- ・資金不足を解消するため、土地開発基金から無利子で2億円の資金を借り入れた。
- ・長府扇町8番8の造成地(4,322㎡)について、3,000万円で売却した。
- ・長府扇町12番2の造成地の一部(3,971㎡)について、新たに長期貸付けを行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成23年度)	平成24年度 (第2年度)	平成25年度 (第3年度)
当初計画	A		△155,432	△1,111,063	110,857
解消実績額	B		96,453	△1,248,435	166,736
現在計画	C		—	—	166,736
B-A 又は C-A			251,885	△137,372	55,879
資金不足額		1,300,695	1,204,242	2,452,677	2,285,941

(単位：千円)

区分	年度	平成32年度 (第10年度)
当初計画	A	270,904
解消実績額	B	—
現在計画	C	270,904
B-A 又は C-A		—
資金不足額		471,826

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 23 年度)		平成 24 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	25.8	32.4	26.8	60.1	57.8	59.0	55.8

(単位：%)

年度 資金 不足比率	平成 32 年度 (第 10 年度)
	計画値
資金不足比率	17.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ ホームページに売却用地の情報を掲載するとともに、企業誘致の観点から部局間で連携し、積極的な販売促進活動を行った。

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・入込客数については、少雪の影響により減少したものの、ニーズに合わせた商品及びサービスの充実、底辺拡大イベントの開催など、利用促進対策を積極的に講じたことにより、多くのイベントで参加者数が増加。
- ・収入額は前年度に比べて微増し、一般会計からの繰入れは計画どおり実施（178,900千円）。
- ・大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・指定管理内容の検討については、平成22年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A			10,994	9,261	118,379	131,947	131,947	130,272
解消実績額 B			6,793	11,443	162,996	131,095	126,801	—
現在計画 C			—	—	—	—	126,801	100,984
B-A 又は C-A			△4,201	2,182	44,617	△852	△5,146	△29,288
資金不足額		664,747	657,954	646,511	483,515	352,420	225,618	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	1,430.8	1,110.3	1,083.2	738.6	687.3

年度 資金 不足比率	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・弘前市内の 4 スキー場のあり方等について、庁内関係課による検討会議で方針を決定。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施（17,526 千円）。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			21,065	24,521	23,349	26,118	19,318	25,572
解消実績額 B			24,731	26,571	20,983	24,378	24,371	—
現在計画 C			—	—	—	—	24,371	25,572
B-A 又は C-A			3,666	2,050	△2,366	△1,740	5,053	0
資金不足額		165,435	140,704	114,133	93,150	68,772	44,401	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
			実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		1,417.3	991.7	955.0	815.4	693.6	656.5	585.1	478.8	435.4	302.1	258.3

資金 不足比率	年度
	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 温泉使用料を平成 25 年 8 月分から値上げ改定することとした。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日より株式会社休暇村サービスによる指定管理運営を行っており、同平成 22 年 10 月 1 日より宇陀市保養センター事業特別会計は、宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画の管理をしていくことになった。
- ・平成 25 年 3 月に経営健全化計画を変更し、平成 25 年度の一般会計からの繰入については、変更計画どおりに実施した。
- ・資金不足額は、解消可能資金不足額の減少により前年と比べて増加したが、変更計画の数値は達成しており、資金不足比率についても、変更計画の数値は達成している。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
当初計画 A	70,480	△93,905	262,404	174,709
解消実績額 B	80,272	△65,722	—	—
現在計画 C	—	△65,722	262,404	174,709
B-A 又は C-A	9,792	28,183	0	0
資金不足額	1,067,297	1,133,019	360,683	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	224.2	287.2	306.1	297.2	94.9	—

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 戦略的広告事業について、業務委託し実施した。近県及び九州に向け雑誌・新聞広告・インターネット等各種媒体を通じた積極的な広告宣伝、観光 PR 活動等を展開。
- ・ 山口県・国際観光推進協議会・県内観光関連業者と連携し、海外（台湾・韓国）からの観光客の誘致活動を実施。
- ・ 組織改編により正規職員を 8 名減とし、業務は委託職員で対応し、平成 25 年度から委託職員を 2 名、臨時職員も 2 名減とした。
- ・ トロン温泉について、営業時間を 1 時間短縮。また、休業日の見直しを実施。
- ・ 秋吉台家族旅行村と秋吉台リフレッシュパークの一体管理による指定管理者制度の導入。
- ・ 山口市と観光交流パートナー協定を締結し大阪・広島・四国方面の体験学習素材の提供等、旅行誘致活動を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年 度)	平成 22 年度 (第 2 年 度)	平成 23 年度 (第 3 年 度)	平成 24 年度 (第 4 年 度)	平成 25 年度 (第 5 年 度)	平成 26 年度 (第 6 年 度)
当初計画 A		159,138	250,215	264,543	245,284	261,396	132,072
解消実績額 B		221,882	184,998	219,420	249,182	180,867	-
現在計画 C		-	-	-	-	180,867	256,299
B-A 又は C-A		62,744	-65,217	-45,123	3,898	-80,529	124,227
資金不足額	1,312,648	1,090,766	905,768	686,348	437,166	256,299	-

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足 比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	93.2	49.5	60.5	16.6	39.8	-

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・美祢市総合観光振興計画を策定し、振興策と経営健全化について、平成 26 年度までに優先的に実施する重点プロジェクト 9 項目を策定。
- ・養鱒場について、販路拡大及び施設改修等、釣り堀での使用料収入の増加を目指した取組みを実施。
- ・秋芳洞内の照明改修事業（LED化）により施設のイメージアップを図ると共に洞内の照明に係る電気料金を 14%削減。
- ・経営管理能力向上のための職員研修及び来客者の満足度を高める接客研修及び市職員と同等の自己点検・評価を実施。
- ・徹底的な歳出の見直しによる歳出抑制を行った。

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 平成 25 年度の計画で収益的収入については前年度実績額より 357 千円減の 35,276 千円、それに伴う収益的支出については前年度実績額より 5,467 千円減の 8,902 千円と見込んでいたところ、収益的収入の実績額 35,280 千円、収益的支出の実績額 8,896 千円といずれもほぼ計画どおりの結果となった。
- ・ 計画と比較して、資金不足額については、8,354 千円の増加となり、平成 25 年度の資金不足比率については、営業収益額が計画を下回ったことと、施設整備の入札減等による総支出額の減少に伴い、総支出額に対する元利償還金の割合が増加したことで、一般会計負担割合が増加したことが要因となり、計画値 429.3%に対し、実績値 436.8%となった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	118,168	128,414	154,178
解消実績額 B	△454,604	109,814		
現在計画 C	—	109,814	136,778	154,178
B-A 又は C-A	△528,224	△8,354	8,364	0
資金不足額	1,287,095	1,177,281	1,040,503	886,325

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	267,669	242,434	261,353	271,484
解消実績額 B				
現在計画 C	267,669	242,434	261,353	271,484
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	618,656	376,222	114,869	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	225.4	457.7	429.3	436.8	382.2	325.5

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	227.2	138.2	42.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 10 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・施設管理費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(415,585千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		287,301	281,218	298,407
解消実績額 B		279,469	271,397	297,423
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△7,832	△9,821	△984
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,363,034	2,065,611

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	295,466	295,716	297,934
解消実績額 B	302,067	329,773	—
現在計画 C	—	329,773	297,934
B-A 又は C-A	6,601	34,057	0
資金不足額	1,763,544	1,433,771	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3,117.3	2,230.2	2,503.2

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	1,908.3	2,448.0	1,586.1	2,024.7	—